

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切に、文化の薫る美しいまちをつくります。

としあか

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

第4回うつのみやこども賞

『バツケの原の物語』に決定

五月三十一日から三月二〇日まで21回にわたって、第4回うつのみやこども賞の選定が行われ、吉田とし著「バツケの原の物語」(小峰書店)が選ばれました。

『バツケの原の物語』

バツケの原とは化けの原、つまり化け物の原です。バツケの原に、ヨメナイ荘と呼ばれるアパートがあり、二階十号室にはヒロミ先生という元気で風変わりな女の人が



住んでいます。バツケの原の子供

たちとヒロミ先生のゆかいな交流。

それはバツケの原に五階建てマンションを建てる計画をぶちこわすためのバツケの原まつりで頂点に達します。ユーモアに満ちた愉快な読みものです。

「こども賞」の選定は月に2回日曜日の午後に行っています。司会、本の紹介、採決、すべてこどもたちの手で行われます。この賞は、一年間に出版された小学校高

学年向の日本の創作童話を対象としたもので、過去3回の受賞作品は次のとおりです。

▽第1回 かつおきんや著「おばあさんのゾウ」▽第2回 岡田淳著「二分間の冒険」▽第3回 那須正幹著「お江戸の百太郎」

それぞれに特色のある作品が選ばれています。選定の途中で候補にあがった本を見ると、今年は明るく愉快な本に人気がありました。「こども賞」の本も世の動きを反映しているといえそうです。

25人の子どもたちが選んだ本。

親子そろって読んでみてはいかがでしょう。

選定委員は公募で

一年間本を読んでもらう選定委員を、今年も公募する予定です。

対象は5・6年生の男女。月2回日曜日の午後図書館に来るのは大変だけれど、読書好きの子たちが選定委員に応募してくれるのを期待しています。
(募集は広報紙で)



陽光小 6年

高橋 理枝さん



桑川第2小 6年

田口真由美さん



富士見小 6年

須藤佳奈子さん



桑川第2小 6年

坂田 瑞恵さん



附属小 6年

駒庭 学志さん



戸祭小 6年

越野 留美さん



西原小 6年

金澤美奈子さん



西小 6年

大林 安博さん



泉が丘小 6年

海老沼朋子さん



陽光小 5年

桜井奈緒子さん



泉が丘小 5年

窪崎 浩子さん



西が岡小 5年

上原 優樹さん



陽光小 5年

五十嵐暁子さん



緑が丘小 6年

保田 芳子さん



陽光小 6年

福田 美佳さん



陽光小 6年

野沢ますみさん



西小 6年

鶴田 桂子さん



西小 6年

佐々木順子さん



陽光小 5年

柳岡 陽子さん



城東小 5年

宮田なつ実さん



清原中央小 5年

船越明日香さん



宮の原小 5年

西山しのぶさん



陽光小 5年

鳥海真希子さん



戸祭小 5年

菅野 真穂さん



桑川第2小 5年

澤口 玲子さん



桑川第2小 5年

佐々木順子さん



桑川第2小 5年

佐々木順子さん

昭和63年度 移動図書館 「さつきⅠ号・Ⅱ号」巡回日程が決まりました。

曜日	さつきⅠ号		さつきⅡ号		巡回日(予定)
	ステーション名	駐車時間	ステーション名	駐車時間	
火	コマバスーパーの沢店前	9:30~10:10	ミネ幼稚園・南	9:40~10:20	4月19日 10月4・18日
	山崎公民館・北	10:30~11:10	峰 町	10:30~11:20	5月31日 11月15・29日
	城山西小前	1:10~1:50	大島公民館	1:10~1:50	6月14・28日 12月13日
	大谷郵便局前	2:10~2:50	関東農政局前	2:00~2:50	7月12・26日 1月19・31日
水	富士見が丘	9:30~10:30	さかえ幼稚園	9:30~10:20	4月6・20日 10月5・19日
	ニュー富士見が丘	10:50~11:30	西田第3公園	10:30~11:20	5月13日 11月2・16・30日
	上野町公民館前	1:20~2:10	さつきニュータウン	1:20~2:10	6月15・29日 12月14日
	竹林町	2:20~3:00			7月13日・27日 1月18日
金	宮の内4丁目	9:30~10:10	城南2丁目	9:30~10:20	4月8・22日 10月7・21日
	西原北公民館	10:30~11:10	今宮1丁目公園	10:40~11:30	5月6日 11月4・18日
	緑2丁目	1:10~2:00	県衛生福祉大学校・南	1:10~2:00	6月3・17日 12月2・16日
	東原町	2:10~2:50	陽南2丁目児童公園	2:10~2:50	7月15・29日 1月20日
土	戸祭小西門前	9:30~10:30	西の宮自治会館前	9:30~10:20	8月26日 2月3・17日
	若草三区公民館	10:40~11:40	北原児童公園	10:30~11:20	9月9・23日 3月3・17日
	宝木団地	1:20~2:20	上欠団地	1:30~2:20	4月9・23日 10月8・22日
					5月7日 11月5・19日
火	県営野沢住宅	9:40~10:30	朝日が丘団地	9:40~10:20	6月4・18日 12月3・17日
	並木台団地	10:40~11:20	光が丘団地	10:30~11:20	7月2・16・30日 1月21日
	篠井出張所前	1:10~2:00	清原北小前	1:00~1:40	8月27日 2月4・18日
			南団地	1:50~2:40	9月10・24日 3月4・18日
水	三菱製鋼アパート	9:40~10:20	下栗4丁目公民館・南	9:30~10:20	4月12・26日 10月13・25日
	若杉台団地	10:30~11:10	上横田町	10:30~11:20	5月10日 11月8・22日
	雇用促進住宅平出宿舎	1:00~1:40	つばめ児童公園	1:10~1:50	6月7・21日 12月6日
	瑞穂野団地	2:00~3:00	瑞穂野団地	2:00~3:00	7月5・19日 1月10・24日
金	若草県営アパート	9:30~10:10	江曾島駅前	9:30~10:20	8月13・30日 2月7・21日
	もくせい児童公園	10:30~11:20	幕田町公民館	10:40~11:20	9月13・27日 3月7・21日
	山王団地	1:10~1:50	兵庫塚団地	1:20~2:10	4月15・29日 10月14・28日
	戸祭台団地	2:20~3:00	西川田駅前	2:20~3:00	5月13日 11月11・25日
土	下栗1丁目公民館	9:30~10:10	関原遊園地	9:30~10:10	6月10・24日 12月9日
	今泉第二保育園前	10:40~11:30	雀宮公民館	10:20~11:20	7月8・22日 1月13・27日
	東勤労青少年ホーム	1:10~2:00	上原団地	1:10~2:10	8月5・19日 2月10・24日
					9月2・16・30日 3月10・24日

63年度はステーションの場所が一部変更になる外、巡回の曜日もたは駐車時間の変更になるステーションがあります。実施は昭和63年4月6日からです。

なお、今年度は33人のステーション・マスターを委嘱します。左の表のとおり、移動図書館車「さつきⅠ号、Ⅱ号」は、市内58

か所のステーションを、おおむね2週間に1回の割合で巡回します。駐車時間は約1時間、1人あたりの貸出冊数は5冊まで、期間は借りた日から次の巡回の日までです。

どこのステーションでも利用できますので、ご都合の良いステーションにお出かけください。

お話しボランティア 研修会

2月28日(日)「語り手たちの会」の寺内重夫氏を講師に迎え、お話しボランティア研修会を行いました。16名のボランティアの出席で、まず、昔話の語り手、すなわち歴史的語り手は現在存在せず、現代の語り手によってお話しが語られていると話されました。

語り手とは、自分の昔を持ち、自己表現の言葉を獲得して、昔話はあったこととして語ることが大切である。

最後に、おり紙の実践があり、楽しく研修会が終了しました。

この賞は、こども自身による作品の評価の道をはらくため、昭和59年度に設置されたもので、対象となるのは、小学校高学年向きの日本人による創作童話。月2回選定会議を行って推薦図書を決め、さらに年間最優秀作品を一冊選んで、「うつのみやこども賞」を与えます。

第4回(昭和62年度)からは、宇都宮子どもの本連絡会と図書館の共催で実施しています。

子どもと子どもの本を 神宮 輝夫氏
つなぐ講座 ③

2月7日(日)児童文学者の神宮輝夫氏を迎えて、「児童文学の中の子どもたち」をテーマに開催しました。

子どもの文学に出ている子ども像は、その国やその時代の人々の一般的な考え方を反映しています。日本の1960年代の新しい子どもの

文学を作ったのは、終戦後の転換を体験した世代の人たちでした。60年代から70年代にかけては子どものあるべき姿でなく現実の姿を描いた作品が出て来ます。

今は本が読まれないう状況の中で娯楽性の強い作品が沢山出ているが、長い歴史の目で見れば傑作と



して残ったものは子どもが残したものであり、大人のできることはできるだけ多く本のある環境を作ることではないかと結ばれました。

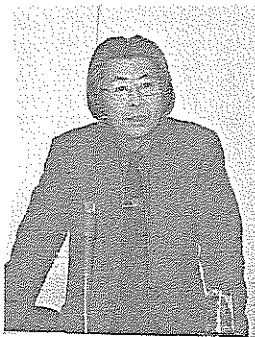
ずいひつ講座 ② 黒井 千次氏

2月14日(日)作家の黒井千次氏を迎え、「小説家の随筆」をテーマに第2回ずいひつ講座を開催しました。

随筆というのは、思っていることを思っているままに自然に出て来るような書き方が良いのではないか。

また、小説家の書く随筆が随筆家の書く随筆と違う点は、小説家は自分にとって一番大事なものは随筆に書かないで小説に取っておく。それから、小説ではないものを書いていてという意識が強いので、随筆の中に直接に括弧書きで

会話はあまり書きたくないという気持ちで自然に働く。最後に黒井氏自身の随筆を例にあげて、どのように作品が生まれて来るかを具体的に語られた。



読者指導者養成講座 ② 関谷 一郎氏

2月21日(日)宇都宮大学助教授の関谷一郎氏を迎えて、第2回読書指導者養成講座を開催しました。

テーマは、「太宰治―作家の苦しさ・作品の愉しさ」。冒頭、太宰

に関する作家論、作品論を紹介されました。前者では、奥野健男著『太宰治論』、饗庭孝男著『太宰

治』、後者では渡部芳紀著『太宰治心の王者』、東郷克美の論文などです。また、現在は作家論が主流になっていると話されました。

氏は、太宰の作品は二重の読者(作品の言葉を読む人々と、作家との継がりまで含めて読む人たち)を想定して書かれていると、



教授 個々の作品を通して指摘され、太宰の事を知っていると、作家を思い出しながらも読めるおもしろさがある、と結ばれました。

昭和63年度 巡回文庫配本日程

前号でも詳しくお知らせしましたが、図書館では、各地区の皆さんのために、左表の公民館・分館に100〜500冊の本を配本しています。どうぞご利用ください。配本図書の一部入れ替えの日程は、次のとおりです。

また、61年度から進めている配本冊数の増冊についてですが、今年度は、○印の館が増冊になります。増冊は6月以降の予定です。(一)内は置いてある冊数です。

公民館・分館名	入替日
城東分館(500)	6月30日 12月22日
峰分館(500)	8月4日 2月9日
昭和分館(500)	9月29日 3月16日
東公民館(300)	6月2日 11月17日
御幸分館(500)	7月7日 1月12日
泉が丘分館(500)	8月11日 2月16日
北公民館(500)	10月6日 3月23日
中央公民館(1800)	随時

○公民館や分館が開いている時に本を1人5冊まで、2週間借りられます。

○はじめての方は「貸出申込書」を書いていただければ、その館で貸出券をつくります。なお、市立図書館や移動図書館ですてに貸出券をつくらった方は、その券を使ってください。

目次

問 閲覧室の利用について

答 夏休み等、閲覧室が混み合う時は順番に並び、席は職員が指定します。昼食は十二時から一時までとし、三十分以上席を空ける時は荷物を持って、次の人が利用できるようにして下さい。

ステーション・マスター研修会

移動図書館と利用者の皆さんとの橋渡し役として活躍するステーション・マスター(33名)の方々の研修会を実施します。

日時 4月5日(火)

午前10時～午後0時

場所 市立図書館3階集客室

なお、当日はステーション・マスター辞令交付式もあわせて行います。

落語会

目の不自由な方々が鑑賞するテープを作るために開かれる落語会、今年度も、アマチュアグループ「のんき亭喜楽一門会」の協力により5回の開催を予定しています。

生の落語会の模様を「声の図書」としてテープに収録し、郵送貸出しにより、声を届けています。寄席の雰囲気伝えるためにはあなたの笑い声が一番です。一人でも多くのご来場をお待ちしております。

- 第34回落語会 7月9日(土)
 - 第35回 " 9月17日(土)
 - 第36回 " 11月19日(土)
 - 第37回 " 1月14日(土)
 - 第38回 " 3月4日(土)
 - ◎会場 市立図書館3階集客室
 - ◎時間 午後3～5時
- なお、入場は無料です。

ニュースコーナー

3階レコード・テープ室前の廊下にある、常設展示ケースに宇都宮の古地図(複製)を展示中です。歴史に興味をお持ちの方はぜひご覧下さい。もうひとつのあなたの街に出合えるでしょう。

〔内容〕藩政時代の宇都宮城略図・最新地番入宇都宮市街図・村絵図・江戸時代宇都宮城下の図など

特別整理期間

5月17日(火)～5月26日(木) この期間は、蔵書点検、書架移動など、日頃行えない事務のため休館になります。

図書館の蔵書は、現在約42万冊ほどありますが、これらを一冊ずつ照合していくのが、蔵書点検です。長い休みになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

うつのみやこども賞 受賞者講座

第4回うつのみやこども賞受賞作「パツケの原の物語」の著者、吉田とし氏をお迎えして、受賞記念講演会を行う予定です。日時は今のところ未定ですが、「広報うつのみや」等でお知らせいたします。ご期待ください。

宇都宮の古地図(複製) 展 示

貸出状況

区分	63年2月	62年度累計 62/4～63/2
登録者数	676人	1,18,106人
貸出人数		
館内	16,642人	191,913人
視聴覚	2,252	26,541
館外	3,197	
計	22,091	252,883
貸出冊数		
館内	56,507冊	649,816冊
視聴覚	6,658	71,977
館外	13,619	146,955
計	76,784	868,748

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

2月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	756人		30人	
貸出冊数	2,569冊		126冊	

利用案内

◎開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は午前9時30分～午後5時

◎休館日

毎週月曜日
国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

◎貸出は

一人5冊。2週間以内。

◎休館日カレンダー

4、5月は、ゴールデンウィーク、特別整理期間のため、休館日が多くなります。

名刺大の休館日カレンダーが各カウンターにあります。

ぜひご利用ください。

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
22	23	24	25	26	27	28
29	③〇	31				

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑮	⑮	20	21	22	23
24	⑳	26	27	28	⑲	30

ボランティア製作

あたらしい本

点字図書
▽オキクルミのぼうけん(渡辺ふみ)▽ふとつちよねこのグウ(塩田恵美子)▽ロビンと海賊(田中光子)▽やさしいクッキング(北川君子)▽サマセット・モーム(猪瀬鏡子)▽北海道の夜明け(塚原瑤智子)▽遺された妻(原田邦子)▽ゆうびんやのくまさん(平山智子)▽まめたろう(山岸悦子)▽たべちゃうぞ(築瀬菊江)▽アンナちゃん(川島せい子)▽5つのおくりもの(西海石久子)

声の図書

▽もし愛しているなら(須藤秀代)▽初心こそ株の秘訣・夜と霧の隅で(木村あい)▽結婚関係・いつか誰かが殺される(田中義子)▽わらの街(吉野直利)▽堤義明は語る(小川暢子)▽花と木の文化史(宇佐美伶子)▽モイラ(横山嘉子)

寄贈

高久富夫「峰ヶ丘球道第一号」。
伊吹岩夫「反射」。森正義「鉄血作戦を阻止せよ」。長谷川秀吉「昭和語録」。黒崎澄子「北国通信」。
中村守枝「余計なお世話」他多数。